

新着図書案内 - 特別版 -

	書名	著者名	出版社
1	ノンバイナリーがわかる本	エリス・ヤング	明石書店
2	男子という闇	エマ・ブラウン	明石書店
3	黒人と白人の世界史	オレリア・ミシェル	明石書店
4	貧困パンデミック	稲葉剛	明石書店
5	教育は社会をどう変えたのか	桜井智恵子	明石書店
6	アンダークラス化する若者たち	宮本みち子	明石書店
7	戦争の文化	ジョン・W・ダワー	岩波書店
8	人類が滅ぼした動物の図鑑	的場知之	丸善書店
9	猫が歩いた現代史	真辺将之	吉川弘文館
10	モノのはじまりを知る事典	木村成光	吉川弘文館
11	〈洗う〉文化史	国立歴史民俗博物館	吉川弘文館
12	世界の文字の図典	世界の文字研究会	吉川弘文館
13	日本史を学ぶための図書館活用術	浜田久美子	吉川弘文館
14	日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法	日本史史料研究会	吉川弘文館
15	古代の食を再現する	三船隆之	吉川弘文館
16	人類の歴史を変えた発明	ジャック・チャロナー	ゆまに書房

創立70周年記念として、公益財団法人 日本教育

公務員弘済会より、贈呈図書をいただきました！！

図書カウンター横の本棚にコーナーを作りました。

興味のある方は、ぜひ図書館に遊びにきてください：)

今年は秋が曖昧で、季節感が感じられず、寂しいですね。

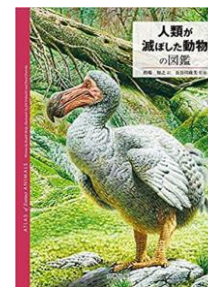
せめて行動は秋らしく！読書の秋を楽しみませんか？



ノンバイナリーが分かる本

エリス・ヤング

男女どちらにも当てはまらないジェンダーのあり方「ノンバイナリー」についての本です。米国でジェンダー中立の代名詞「they」が2019年の言葉に選ばれたことや、性別欄「X」のパスポートが発行されたことが話題となりました。セクシュアリティに悩む人やその周囲の人にぜひ手に取ってほしい一冊です。



人類が滅ぼした動物の図鑑

「そして、その後もみな幸せに暮らしましたとさ。めでたし。めでたし。」こう結ばれるおとぎ話は数多く存在するが、ここで紹介する41の物語の主人公たちには通用しない。幸せな結末を迎えることなく、滅ぼされてしまったのである。ほかならぬ我々人類の手によって。



モノのはじまりを知る事典

木村成光

日本人はいつからおにぎりを食べていた？ゴミを吸い込む掃除機が必要となった訳は？

私たちの生活に身近なモノの誕生に焦点を合わせ、その変化、名前の由来、発明した人物などを通史的に解説。人がモノをつくり、モノもまた人の生活と社会を変えてきた歴史が見えてくる。



黒人と白人の世界史

オレリア・ミシェル

「ヨーロッパ人は、アフリカ人を奴隷にしたために人種主義者になった」。本書は、大西洋奴隷貿易、奴隷制、植民地主義とともに、「人種」がどのように生み出され、正当化されていったのかを歴史的に解明する。ル・モンド紙が「まるで小説のように読める」と評す、人種の歴史の新たな基本書。



猫が歩いた現代史

猫って、ずっと可愛がられていた訳じゃなかったんだ…あなたの知らない、「ちょっと昔の猫」の話

文豪たちに愛され、ネズミ駆除で重宝された一方、虐待、軍用毛皮の供出、食糧難による猫食いなど、苦難の路を辿った猫たち。人間社会のなかに生きる猫の歴史を解説する。

本のリクエストは、こちらから！！

